

承認番号	3641
研究課題名	非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）の実態と予後の解明
研究の意義・目的	<p>日本の肥満人口はすでに2,300万人に達していると言われ、肥満に合併する疾患群が注目されています。脂肪肝の原因は大きくアルコール性、非アルコール性に分けられます。以前より、アルコール性脂肪肝は進行すると肝硬変、肝癌になることが分かっています。そして、あなたのようにお酒をほとんど飲まない人の脂肪肝つまり非アルコール性脂肪肝（NAFLD）は良性疾患であり、減量以外の治療は特に必要ないと考えられてきました。しかしながら近、NAFLDの一部に肝硬変・肝癌に進行する場所があることが明らかになってきました。肝硬変に進行する脂肪肝を非アルコール性脂肪性肝炎（Non-alcoholic steatohepatitis; NASH）と呼びます。NASHの診断には肝生検という検査が必須です。NAFLD/NASHの病態進展のメカニズムは未だに不明な点が多く、早急な病態の解明と治療法の確立が望まれています。</p> <p>本研究は、①アディポサイトカイン、内臓脂肪、酸化ストレス、小胞体ストレス、胆汁酸などの観点から、NAFLDの疾患の実態の解明を行うこと、②NAFLDの病態進展を明らかにする目的で、登録された患者さんの長期予後観察を行います。患者さんの採血データや診療記録等を本研究に利用させていただきたいと思ます。</p>
研究を行う期間	倫理委員会承認から令和22年12月31日まで
研究対象者の範囲	2005年(平成17年)7月28日以降に下記の研究にご協力いただいた患者さんを対象としています。「受付番号1058: 非アルコール性脂肪肝（Non-alcoholic fatty liver disease; NAFLD）の病態の解明」および「受付番号1646: 肝臓病における炎症・線維化・発癌に關与する遺伝子の探索」
お願いする内容	<p>■共同研究機関に頂いた試料・情報を提供します。 ■大阪市立大学医学部附属病院が共同研究の代表施設として研究いたします。</p> <p>血液、組織、検査データ、診療記録等を研究に使用します。</p>
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪市立大学医学部附属病院 先端予防医療学 藤井 英樹
この研究を行っている施設（共同研究機関）	早稲田大学 先進理工学部・教授・合田 巨人 株式会社 三和化学研究所 ・部長・宮崎 雄一
代表施設のURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/liver/research/rinshoukenkyu-kadai.shtml
研究の成果を公表する方法	学会や医学専門誌で発表します。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学医学部附属病院 先端予防医療学 藤井 英樹 Tel: 06-6624-4010